

公益社団法人私立大学情報教育協会  
令和6年度第1回情報セキュリティ合同会議議事記録  
情報セキュリティ研究講習会運営委員会  
情報セキュリティ対策問題研究小委員会

- I. 日 時：令和6年12月9日（月） 16:00～17:30
- II. 場 所：Zoom 会議室
- III. 参加者：井口担当理事・委員長、峰内副委員長、糸川委員、下野委員、室井委員、石山委員、  
村山委員、向井委員、中嶋アドバイザー、  
菊池主査、宮川委員、布田委員、松坂アドバイザー  
（事務局）井端事務局長、野本（記）
- IV. 検討事項
- 委員の紹介が行われた。
  - 大学情報セキュリティベンチマークリストの見直しについて、委員から提示された変更をもとに検討を行った。
    - 第1部 経営試行部の情報セキュリティに対する取組みについて
      - 規程等学内ルールの記事は、一般的な呼び名で情報セキュリティポリシーとし、学内への公開の有無を追加して、7項目での確認とした。
      - 個人情報保護の基本方針についての問を追加することにし、公開の有無も追加して、7項目での確認とした。
      - サイバー攻撃に対する防御体制との表現を利用していたが、外部要因以外の全般的な取扱いとして、情報セキュリティを管理するための体制に変更した。
      - 物件費との表現を利用していたが、誤解を危惧し、人件費を除くとの表現とし、項目の降順を他の設定に合わせて難易度の高い順に変更した。
      - 費用をかけている内容に、バックアップ対策を追加することにした。
    - 第2部 重要な情報資産の把握と管理対策について
      - 重要な情報資産は、情報の重要度を評価し、情報資産管理台帳の整備とした。
      - アクセス制限及びリスク評価の問は、前問にリスク評価を追加したことで、ここでは、アクセス制限のみとすることにした。バックアップも対策の一つであるが、別の問にバックアップ関連を確認する問があるのでここには含めないことにした。
    - 第3部 組織的・人的な対応について
      - インシデント対応組織は、文科省の通達文書記述に掲載されている CISO、情報セキュリティ委員会、CSIRT の表現を使うことにした。
      - 外部委託の際に、セキュリティレベルの統一基準を検討する問を追加する案を提示したが、基本は政府機関向けの方針のため、今回は、追加を見送ることにした。
    - 第4部 技術的・物理的対策について
      - Cookie 情報の取扱いの問を追加したが、日本では個人関連情報としてされており、大学の範囲では、個人情報の取扱いでプライバシーポリシー策定・公表の問題で、第1部に今回個人情報関連の問を追加したので、ここでは追加項目を置かないことにした。
      - forensics は表現をフォレンジックに統一し、その説明を追加した。また、専門の調査会社に依頼する体制があるの項目を追加することにした。
      - 利用者 ID の問は、認証情報安全性の確保として、多要素認証・2段階認証、推測しやすいパスワード、パスワードの使いまわしの3項目で設定することにした。
- V. 次回のスケジュール
- 検討した「大学情報セキュリティベンチマークリスト」は、体裁を整えた後にメールで確認し、本協会の Web に公開することになっている。